

# ぱーとなーず

vol. 20  
2015.12



地域とけんみん信組をつなぐ情報誌

<発行所>  
山梨県民信用組合 総合相談センター  
〒400-0032 甲府市中央1丁目18-6  
Tel. 055-233-4176

冬号



写真は、地元の食材を活用して新たな商品開発に取り組む、(株)丸政の四代目社長 名取政義さんです。

山梨県民信用組合は、  
地域の事業者の皆様を応援してまいります。

私たちは緑の募金に  
参加しています。



私たちは  
献血推進キャンペーンを  
応援しています。

皆様のベストパートナーをめざして

YKS 山梨県民信用組合

<http://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp/>



# 企業訪問 (株)丸政

今回は、東京駅の駅弁売店「駅弁屋 祭」の実演厨房に出展した北杜市小淵沢町の(株)丸政名取政義社長を訪問しました。

●テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」の特集で、社長がインタビューにお答えになっていたのを拝見しました。

●名取社長 東京駅の駅弁売店の中にある「実演厨房」に9月16日から2週間出展しました。お客様に喜んでもらえ、またテレビでも紹介されたこともあり、大きな手応えを感じています。当社では4年前に東京駅での駅弁販売を開始しました。これは、小淵沢駅では日平均で約1200人の乗客があり、定期券利用者は2割程度です。観光客の割合が多く、駅弁の需要も多いわけですが、駅弁にはどうしても需要の波があります。そこで、乗降客がはるかに多い東京駅での駅弁販売を始めました。新規参入ですから、他に負けないものを提供しなければなりませんので、当社では地元産の旬の味を提供にこだわって「季節限定」の駅弁を投入してきました。この結果、東京駅での駅弁販売では、現在、年間16万食、1日約400食を売り上げています。「地元」ということに対する私のこだわりですが、「県産」というよりも「八ヶ岳」エリアという捉え方で考えています。昨年の東京駅「駅弁味の陣」では、当社の「信州牛と松茸ごはん」が「初陣賞」をいただきました。今年も東京駅の販売駅弁2位となり、TBSテレビの朝の番組ビットで紹介されました。

●社長は四代目ということですが、卒業後にすぐに入社されたのですか。

名取社長 実は私は理工系で、大学卒業の頃はコンピュータのY2K問題があって、募集



名取 政義 社長

は多かったんですが、考えることもありまして大手外食チェーンに就職しました。仕事も上司も非常に厳しかったのですが、そこで営業から商品開発さらに店長まで本当にいろんな経験をしました。当社には2002年に入社し、はじめは工場の仕事をし、次に営業の仕事をしました。駅弁はどうしても時期によって売上に波がありますので、県外の百貨店やスーパー等に出展することに取組みました。そうした経験が東京駅での駅弁販売へと結びつきました。

●会社を引き継がれたのはいつ頃ですか。また社長になられたの「思い」や具体的な取組みは。

名取社長 2011年に父から社長を引き継ぎました。当社は大正7年の創業で、「駅弁」と「駅そば」を中心に、今年で97年目を迎えます。駅弁では、全国初の生野菜入り駅弁「高原野菜とカツの弁当」が今年で45周年を迎えます。また、愛川欣也さんの「探検レストラン」というテレビ番組で、京都の会席と東京の会席が小淵沢で出会ったというコンセプトで開発した会席弁当「元氣甲斐」が今年で30周年。カツの衣のバリパリ感が自慢の「甲州かつサンド」が今年で10周年を迎え、この三つが現在も三本柱となっています。この歴史の重みをしっかり引き継いでいかなければならないと思っています。駅弁は文化として提供していくものと私は考えています。併せて、時代の流れや変化にも敏感に対応したものであるべきとも思っています。当社では、決算書等を全て社員に公表し、現在では決算等の数値をもとに各部門で議論するまでになっています。各年度の目標なども社内でも協議するなど、時代の変化に対応していくための取組みを社員とともに考えて進めていくことにしています。

●時代の変化といったものをどのように捉えていますか。

名取社長 20年前に比べると団体旅行は激

減し、鉄道の高速化も進みました。リニア時代になればもっと様変わりするでしょう。人口減少、少子高齢化という大きな課題も加わります。そうした変化を見据え、今から取り組んでいく必要があると思っています。昨年11月の県民信組主催の経営者セミナーに参加し、「ここ3年が勝負。しっかりと将来を見据えて事業展開を考えるべき」との講演を聞き強いインパクトを受けました。今後の事業展開についての社内検討をスピードアップしていかなければと思っています。

●御社の今後の構想につきまして、よろしければ差し支えない範囲でお教えください。

名取社長 「駅弁」はハレ(晴れの文化)、「駅そば」はケ(曇)の文化だと思います。旅先という非日常の中で味わっていた駅弁は、その味はもちろん包装でもお客様に感動を与えられるものでなければなりませんので、こだわって作り込んでいます。一方、日常のものとして根付いている「駅そば」も、当然美味しく安価で地域の皆様から親しまれるよう努力していかなければ直ぐに飽きられてしまいます。現在の当社の売上は、駅弁8割、駅そば2割というところです。ハレの文化である駅弁の売上にはどうしても波があります。「駅そば」には、駅内や駅前などへの店舗展開という課題はあるものの、地域の皆様に喜ばれるものを提供していけば季節等に左右されない安定した売上が期待できます。現在4店舗の「駅そば」をもう少し増やして、将来的には、駅弁と駅そばの売上割合を5対5にしたいと思っています。ハンバーガー等と比べ、「駅そば」は週二、三日でも利用していただけるものです。一杯二百九十円で「大盛無料」を提供していますし、麺は、そば、うどん、中華麺から選べます。トッピングも色々用意していて、ボリュームが欲しい方には唐揚げを選んでもらえれば充分満足していただけます。リピーターの方が多く来店され、手応えを感じております。

また、主力の駅弁についても、炭火焼きにこだわっています。駅弁は、買ってからしばらく後に食べることも多く、作り立てはもちろんです。冷めてからも美味しくなくてはなりません。当社で使用する牛肉はA4ランク以上ですので、これまでの駅弁特有の調理方法では牛肉のうま味である脂分が落ちて過ぎてしまいます。一方、焼肉店と同様に調理してこ

飯の上のせた場合、作り立ては美味しいのですが、一定時間経過しますとご飯が脂でぐちゃぐちゃになり駅弁には適しません。そこで、炭火にこだわって試行錯誤を重ね、常温で一定時間経過しても焼肉が美味しさを保ち、ご飯もしっかり味わえる当社独自の調理方法を開発しました。これが「信州牛と松茸ごはん」や「甲州牛」にこだわって作った「小淵沢丸政の甲州牛御弁当」になりました。さらに最近開発した商品で「天むす」があります。これは、東京駅で駅弁を見ていて「朝が弱い」と感じて開発したものです。今までの駅弁は朝食にはどれも重すぎます。そこで手頃に食べられるおむすびタイプで、ご飯には山のものを使わず、中身のエビもじっくりした食感を握りも工夫した5個のおむすびを昔懐かしい包装で仕上げました。これが好評で、テレビ局からも忙しいスタッフ用のお弁当として注文が入るようになりました。また、商社からも口サンゼルスのスーパが主催する「日本のうまいもの祭り」への出展依頼があり、担当の社員を派遣する予定になっています。米の文化の無いアメリカでどのように受け入れられるのか結果を楽しみにしています。

●本日はお忙しい中ありがとうございました。

【後記】 試食させていただいた「甲州かつサンド」は10年ヒットの商品と実感。工場見学で個ずつ生米から炊き上げている釜飯を拝見。「当社は二個ずつの炊き上げにこだわっている。」(名取社長)とのこと。炭火焼にこだわった「小淵沢丸政の甲州牛御弁当」をその日の夜に食べたのですが、感動する味でした。「天むす」の写真は取って掲載しません。皆様が実際に手に取って是非味わってみてください。きっと包装も含めて感動されるものと思います。



小淵沢丸政の甲州牛御弁当

## 「甲府大好きまつり」

### 「ビット・ビット」部門

#### 4位入賞!

山梨県民信用組合では、今年も「甲府大好きまつり」に参加し、若手職員で編成した「けんみん信組チーム」がお祭りを盛り上げました。10月17日(土)に開催された「第27回甲府大好きまつり」に参加したのは、当組合の入組二年次(全員)と二・三年次(有志)の総勢61名の若手職員。「ビット・ビット」部門には、県内外から11チームが参加し、ダンスを競いました。けんみん信組チームは、元氣一杯のパフォーマンスを披露し、優秀賞(第4位)を獲得しました。





笛吹市経済懇話会が10月16日にホテル古伯園で開催され、同会からのご依頼で当組合廣瀬理事長が講演しました。地域経済や地域の歴史・文化をテーマにどの要望を受け、前半40分間を「地方創生」、後半40分間を地元の埋もれた歴史として廣瀬理事長が個人で長年研究している「黒駒勝蔵」をテーマに講演。本誌では、この後半の講演を掲載いたします。(紙面の関係から、講演内容の一部を省略して編集しています。)

## 『黒駒勝蔵』考 廣瀬正文

〜笛吹市経済懇話会での講演から〜

ここからは地元のお話をさせていただきます。一定の年代の方は、黒駒勝蔵と聞くと、アウトロー、清水次郎長の敵役と思われるでしょう。浪曲や時代劇の映画やテレビなどからイメージが定着した結果なのでしょう。私の住む地元の歴史上の人物が本当にそうだったのかと知りたく調べてはじめてのが、黒駒勝蔵との長い付き合いとなりました。まず黒駒、現在の笛吹市御坂町黒駒の由来からです。日本に律令制度が導入された七世紀末、飛鳥の都と甲斐の国は、甲斐の政庁と御殿場を結ぶ甲斐路と、御殿場から飛鳥の都を結ぶ古東海道により結ばれていました。この頃、皇室専用の直営牧場が甲斐、信濃、武蔵、上野の四ヶ国に設置され、甲斐の国には三つの御牧、今では御料牧場があり、甲斐の国に三つの御牧、今では御料牧場がありました。特に甲斐で生産される「甲斐の黒駒」は駿馬としてとりわけ名高く数々の伝説を生み出しました。特に有名なのが、聖徳太子が甲斐の黒駒にまたがり、飛行して富士山に至り、信濃を経て三日後に都へ帰ってきたという説話や、壬申の乱の時、甲斐の黒駒にまたがった甲斐の勇者が大海人皇子、後の天武天皇側に立って勝利したという話が残っています。当時の黒駒は、天皇に献上する駿馬の選抜機能を発揮した所として、またこうした駿馬の集散地として栄えた土地でありま



黒駒勝蔵像

す。黒駒はもともと皇室との関係が深かった土地柄と言えるでしょう。

さて、時代は二気に江戸時代の末期まで下りますが、「黒駒勝蔵」は天保三年(1832)、上黒駒村で代々村役人を務めた名門小池家の次男坊として生をうけました。本名は小池勝蔵であります。勝蔵の父、吉左衛門は、この時の小池家の嫡男が小池家を継ぐにふさわしくないと、他家から養子を迎えられた人で、知恵才覚が優れた上に、厳格一点張りの武士気質の人物でありました。小池家の家憲は、「天朝様へのご奉公が第一。次に御先祖様を忘れるな。その次は家名を汚すな。」でありました。厳しい姿勢の父と温情あふれる母に育てられた勝蔵は、誠にピュアな精神の純情少年として成長しました。十四歳となつて、隣村の甲斐二宮浅間神社の宮司、蜂城先生の家塾に弟子入りし、国学や漢学を叩き込まれたのであります。いわば太古以来のこの国の良き伝統と漢籍の素養の一端をこの時期に身に付けたものと推察されます。やがて身長五尺八寸、体重二十二貫の水際だった伊達者に成長し、齢二十歳を迎えた勝蔵は、村一番の器量良しのお定と恋仲になり、さらにお定が身重となつたことから、父吉左衛門から家憲に背く縁組みは許せないと一生の勘当を言い渡されてしまいました。お定はその不首尾を聞くと我を忘れてもたえ苦しみ、服毒を図る最悪の運命に身を任せました。三日三晩、「称願寺」のお定の墓前で生と死の間を彷徨つた勝蔵は、あくる朝、死を選ぶより小池家の家憲とお定の死に報いるために、天朝様の御為に死を厭わずに働き抜くことを決意します。生き抜く道筋の固まった勝蔵は、早速「称願寺」の墓前から神座山の「檜峰神社」に参詣し、秘めたる思いを神に誓いました。ここに、後の勤皇侠客「黒駒勝蔵」が姿を現しました。

ここに登場する「檜峰神社」の宮司の武藤

家は、古くから「檜峰神社」の神主であり、武田氏滅亡後は徳川勢に属し徳川家から社領を与えられ八反屋敷と呼ばれる豪勢な屋敷を持つなど、天領であった甲斐の国の中で特別の存在でありました。さらに水戸の徳川家とも気脈を通じ、尊皇攘夷の高まった幕末においては水戸の天狗党の隠れ場所でもありました。また国学思想に傾倒した当主武藤外記がこの頃開いた私塾「振鷺堂」に勝蔵も在籍したといわれております。武藤家は、京都の神道の一つの本家である吉田家との深い繋がりもあり、幕末における東西の勤皇志士の溜まり場にもなつていました。この頃、隣村竹居村を拠点に活躍した博徒中村安五郎、通称は竹居吃安も武藤宮司の薫陶を受けた一人といわれています。この武藤家に伝わる古文書は「武藤家文書」として山梨県の大切な文化財でもあります。

この時代、黒駒村や竹居村など甲州の村々の多くは、外に向かつては入会権、水利権を主張し、内に向かつては年貢や村入用の負担をめぐつて各自が権益を主張し合い、最終的には円滑な村政の運営のために全員が納得の上に署名捺印する村議定というものを編み出していました。こうした村政運営の主体となる村役人の中から人格識見に優れた者が代官に代わつて警察権を行使する郡中取締役として代官から任命される制度もありました。しかし、郡中取締役の中には、さまざまにトラブルや事件にかかわる中で地域の顔役となり、無宿やくざや博徒と結びつくミイラ取りがミイラになる者もあり、一方、代官の中には手下の博徒を使つて御用賭博を開かせ莫大な寺銭を収入としたいわゆる悪代官もおりました。公権力が悪事に手を染めることは、村々の自立、自衛、自治を損なうという悪影響が強く現れていきました。こうした時代環境の中で、黒駒勝蔵は竹居吃安と同盟を結び、立ち上がりました。

黒駒村戸倉集落の長者「堀内喜平次」は、公正無私な奉公のために身命を賭す勝蔵の高潔な発心に心を揺さぶられ、勝蔵の外護者として、勝蔵率いる「黒駒党」の兵糧一切を、全財産を投げ打つて支えました。こうして勝蔵は代官と結託する「ならず者」やあたりの賭

場を片っ端から征服していききました。こうした出入りを繰り返しながら、甲斐への進出を目論む清水次郎長を富士川沿いから駿河へ押し返し、やがて東海道を西進し、伊勢、美濃まで進出していききました。

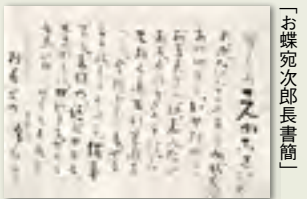
時代は幕末、騒乱の坩堝と化していた京都から黒駒へ、石原幾之進と名乗る来客がありました。この人物こそ、土佐の参政吉田東洋を暗殺したことから、佐幕派の土佐を追われ、京の薩摩藩邸に匿われていた土佐勤王党の那須信吾でありました。用件は表向き朝廷方の密命による上洛の要請でありました。この頃、薩長を軸にした倒幕目的の志士たちは、少壮の公卿を総帥に、浪士や有力アウトローらによる草莽隊を編成することが多く見られ、黒駒勝蔵への要請は、公卿の綾小路敏実らを総帥に相良総三が組織した赤報隊への参加要請でありました。勝蔵は美濃の朋友であった水野弦三郎の推挙もあり、この赤報隊に加わりました。この赤報隊は東征のさなか年貢半減令など想定外の行政行為が行つたため、京の東海道鎮撫総督府は、赤報隊に乱暴狼藉掠奪の汚名を着せ、偽官軍として処断することになります。勝蔵はこうした赤報隊の支配行政にまで深く関わらなかつたため難を逃れました。京に戻つた勝蔵は、今度は駿府鎮撫総督に任ぜられた四条隆調の徴兵七番隊の親隊長として再度東海道を駿河に下ることになります。宿命のライバルであった清水次郎長は、官軍の親兵隊長となつた黒駒勝蔵と対面し、一切を水に流して挨拶を交わしたとのことでありました。この後、勝蔵は四条郷の陸奥討伐いわゆる戌辰の役に貢献し、宿願の天朝様への献身的なご奉公を果たし、東京に凱旋します。明

治三年(1870)、勝蔵は四条郷に暇乞いを願ひ出て、惜しまれながら久方ぶりに故郷に錦を飾ります。勝蔵はこの時、一切の財産を勝蔵のために投げ出した堀内喜平次と再会し互いの無事と発願の成就を讃え合います。しかし、勝蔵の運命は暗転してしまいます。明治四年、勝蔵は、官軍からの突然の脱退の罪とやぐざ時代の喧嘩出入りの殺人罪を問われて東京で逮捕され、甲府山崎刑場の露と消えることとなります。享年四十歳。

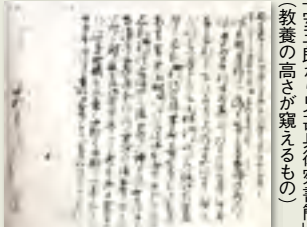
このように見えざる力は、乱世の時代にあつては実力を備えた博徒の支配力や軍勢力を存分に利用しながら国内を平定し、平定後の維新時には様々な理屈で博徒を抹殺していききます。こうして抹殺されたアウトローは勝蔵だけに留まりません。そもそも、黒駒勝蔵をアウトローとして一括りにして良いかという疑問も残ります。勝蔵の黒駒党は農民の側に立って、悪代官やその手先となつたやくざ者と戦つてきたレジスタンスとも見られます。幕末から明治維新にかけては、尊皇攘夷、開国について、幕府も朝廷も誰一人大局的な視野で国を導く基準を持ち得ず、ここに坂本竜馬が持てはやされる所以があるわけでありました。こうした混沌とした幕末維新の政局に博徒の中で敏感に反応したのが黒駒勝蔵であり、本来手のつけられないアウトローであった黒駒勝蔵が、草莽の志高く尊皇攘夷討幕運動の一翼を担つたのは事実であります。実存資料が少なく、浪曲「東海遊侠伝」では清水次郎長の敵役のワルとして描かれておりますが、これまで見てきたように、志の極めて高い世直し社会運動家である珍しい博徒として、大いに評価を見直す必要があることを強調してお話を閉じさせて頂きます。



橋寺と黒駒像



「お蝶宛次郎長書簡」



「安五郎から兄甚兵衛宛書簡」(教養の高さが窺えるもの)



古代の牧と交通

(参考文献 堀内良平著「勤王侠客『黒駒勝蔵』」、山梨県神社庁著「明治維新と甲斐の勤皇」、高橋敏著「清水次郎長、幕末維新と博徒の世界」、山梨県立博物館編「常設展示案内」、国立歴史民俗博物館編「民衆文化とつくりだされたヒーローたち〜アウトローの幕末維新史」) 【本記事は、講演内容を総合相談センターで編集したものです。】



Yamanashi Kenmin Shinkumi

Best Partner

山梨県民信用組合 職域サポートプラン

特別金利定期預金 0.05%

個人ローン 0.5%

Progressive 金利 3.3% 年 2.8%

Wish Innovation Evolution 最大 1.5% 金利優遇

My Reservations 金利 3.8% 年 3.3%

住宅ローン 特別金利の適用

ライフサポート

イメージキャラクターの契約満了により  
表示を外しました。

けんみん信組  
サッカー部  
だより

第20回山梨県金融機関対抗サッカー大会が、11月14日(土)に南アルプス市八田河川敷グラウンドで開催され、けんみん信組サッカー部は一回戦で山梨中央銀行(東京)チームを8対2、準決勝で山梨信用金庫チームを4対3で下し、決勝では山梨中央銀行チームに2対1で勝利し、創部以来初めて優勝しました。併せて、今年度は当組合が所属するKOFU甲斐サッカー連盟主催の通年のリーグ戦でも、グループEを7勝2敗でパート一位となり、金融機関対抗戦とリーグ戦の2冠を達成しました。

山梨県民信用組合 職域サポートプラン

ベスト パートナー

“Best Partner”のご紹介

山梨県民信用組合では、当組合と職域サポート契約をご締結いただいた事業所・官公庁・各種団体等の福利厚生面のお手伝いをするため、職域サポート契約をご締結いただいた事業所等にお勤めの皆様(その代表者及び役員の方も含まれます)に対しまして、特別な金融サービスを提供するなどの新たなサービス「職域サポートプラン“ベストパートナー”」の取り扱いを開始しました。

このプランは、まず事業所等の代表者様と当組合の間で、従業員に対する職員営業と金利優遇制度に関する「職域サポートプラン・ベストパートナー覚書」を締結していただき、事業所様等では従業員様への周知のご協力と当組合職員による個々の従業員様への営業活動をお認めいただくこととなります。なお、従業員様と当組合との個別の預金および融資の契約に関しまして、事業所様等は何らの責任を負うものではありません。

職域サポート契約をご締結いただいた事業所様等の従業員様に対しましては、定期積金の特別金利(店頭金利に上乗せ)適用や、各種個人ローンの特別金利(通常金利から引き下げ)適用が受けられるほか、各種ローン相談や年金相談等への専門スタッフによるサポートを提供いたします。

当組合営業担当者が各事業所様等の総務ご担当者様等をご訪問してご提案させていただきますので、是非とも、ご検討していただきたくよろしくお願いいたします。

支店紹介 城南支店

当店は、昭和51年12月に甲斐信用組合城南支店として開店し、その後二度の合併を経て、平成16年2月16日から山梨県民信用組合城南支店として現在に至っています。

店舗は、甲府市南部に位置し、主要幹線道路(新々平和通り)沿いにあり、駐車場も広くご利用しやすい場所に位置しています。周囲には、甲府南高等学校、甲府商業高等学校、山城小学校、駿台甲府小・中学校などの文教地区と、スーパーマーケットやレストランなどの商業施設も充実しています。

また、数年前から住宅分譲開発が進んでおり、平成25年9月にはリニア中央新幹線の駅建設を見据え、甲府市上今井町に171区画という大型分譲地の販売が開始されるなど、近年、住宅着工戸数の増加に伴い人口も増加傾向にあります。

職員は男性5名、女性4名、計9名と少人数ですが、皆様との「ふれあい」を大切に、職員全員が『お客様第一主義』を掲げ、お客様目線に立った明るい窓口対応、足で稼ぐ営業をモットーにきめ細やかなサービスの提供に努めております。店内では、お客様の趣味や習い事の作品を定期的にロビーに展示しており、併せて、多種・多様な展示会も継続的に開催するなど、地域の皆様方との親睦にも努めています。地域の皆様に信頼される、職員一同、日々取り組んでおります。

これからも地域に根ざした金融機関として、皆様に必要とされる「ベストパートナー」を目指してまいります。



【後記】  
城南支店紹介の写真撮影当日は、産休に入る職員を励ます式が開催されましたので、記念写真も撮影しました。掲載した写真はそのうちの一枚です。

式では、各職員から「元気な赤ちゃんを産んでください。」とあたたかい励ましの言葉が送られ、荻原支店長からは「産休後は引き続き育児休業に入られるわけですが、仕事のことには気にせず育児に専念してください。必要な情報は随時お届けしますので、育児休業明けには、また元気に職場復帰してください。まずは、安心して元気な赤ちゃんを産んでください。」と激励の挨拶がありました。

矢澤係長ありがとう  
元気な赤ちゃんの誕生を全員で祈願しています

